

「MICRO CADAM ライセンス情報取得ツール」利用ガイド

(Windows 用 2008 年版)

2008 年 2 月

STEP-1 ツールのダウンロードと解凍

MICRO CADAM ライセンス情報取得ツールを以下の URL からダウンロードして下さい。

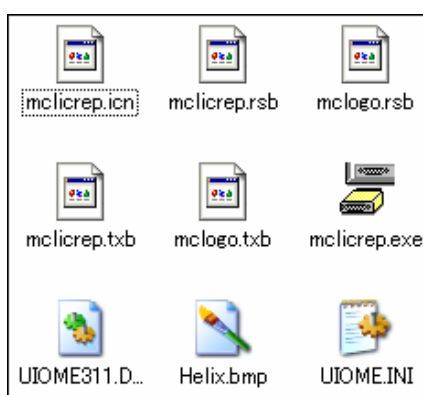
http://www.ibm.com/jp/domino01/mkt/cnpages4.nsf/page/default-mchs_contract#foot3

ダウンロードした「winmclcrep.exe」は自己解凍形式のファイルです。任意の作業用フォルダで解凍してください。

(自己解凍ファイルですので、エクスプローラ内で「winmclcrep.exe」をダブルクリックすると解凍されます。)

STEP-2 利用準備

解凍後、作業用フォルダに下図のような9個のファイルが展開されます。



これらの9個のファイルを同一のフォルダーにコピーする事により、「mclcrep.exe」が利用可能となります。

※ このツールを使ってライセンスデバイス(以下 LD と略す)の情報を取得する場合、LD 用のドライバーを事前に導入しておく必要があります。この LD 用のドライバーは過去に1度でも MICRO CADAM(製品版)を導入されていれば、同時に導入されますので、その場合はあらためての事前の導入は不要です。しかし、MICRO CADAM を1度も導入したことがない PC でこのツールを使う場合は IASC の営業担当者経由で事前にドライバーの入手/導入を行ってください。(MC V3.1 以下で PFK のみのライセンス情報を取得する際は、この LD 用のドライバーの導入は不要です。)

<利用方法>

本ツールはインストール不要です。上記の9個のファイルだけで利用可能です。ご利用にあたっては、以下の方法などがあります。(WindowsNT では USB メディアの利用はできませんので御注意ください。)

- CD-ROM に焼いて CD-ROM から起動
- USB メモリーメディア等に入れて起動
- 情報を取得する PC に任意のフォルダーを作成し、そこに上記の9個のファイルをコピーし、そこから起動

STEP-3 ライセンスデバイス/プログラムキーボードのパソコンへの接続

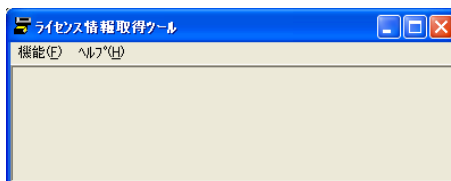
ライセンス情報取得ツールは、複数個の LD と1個のプログラムキーボード(以下 PFK と略す)を PC に接続することにより、LD や PFK 内のライセンスを同時に確認することが可能です。

LD はひとつずつ交互に差し替えていただくか、複数個をカスケード接続(数珠繋ぎ)した状態で複数分をまとめていただくか、いずれかの方法で情報を取得できます。カスケード接続可能な LD の個数に制限はありませんが、あまり多くを接続すると、接続状態が悪くなり、データの取得ができない場合もあります。

STEP-4 ライセンス情報取得ツールの起動

「mclcrep.exe」のアイコンをエクスプローラからダブルクリックしていただく、もしくは、コマンドとしてコマンドプロンプトから実行していただくことにより、利用可能です。

エクスプローラ等からダブルクリックにより「mclcrep.exe」を起動すると、次図のようなウィンドウが起動します。



メニュー[機能(F)]で表示されるのは以下の3つのメニューです。

- [作成(C)] : LD及びセキュリティーROMのライセンス情報と、対象となるマシンのTarget-IDとを取得し、ライセンス情報を暗号化してファイルに書き出します。
書き出されるファイル名は、
LDの場合 RL+LDシリアル番号(拡張子:bin)
S-ROMの場合 RL+ROM+シーケンシャル番号(拡張子:bin) となり、LDをカスケード接続した場合はLDごとに複数のファイルに分かれて作成されます。
- [印刷・表示(D)] : LD及びセキュリティーROMのライセンス情報と、対象となるマシンのTarget-ID情報とを表示したり、印刷したりする事が可能です。
- [マージ(M)] : 作成された複数の取得情報ファイルの内容を1つのファイルに結合できます。

STEP-5 取得情報ファイルの作成

[作成(C)]を選択すると下図の画面が表示されます。

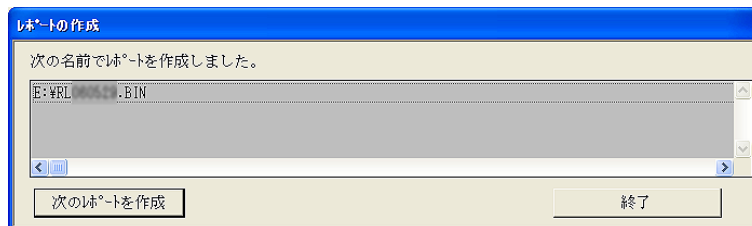


ライセンス取得情報ファイルの格納先の初期値は、ツールを起動したフォルダーと同じフォルダーになります。

他のフォルダーに格納したい場合は、**参照** ボタンにより任意のフォルダーを指定し直してください。

※ PFK を接続して S-ROM の情報を取得する場合は、PFK の接続ポート番号の設定がどうなっているか確認の上以下の STEP に進んでください。(ポート番号は、Windows 版では初期値1、AIX 版では初期値0となっており、お客様独自で MCADAMn.sysの MCLPFK パラメータで設定を変更されている場合は、それに合わせて下さい)

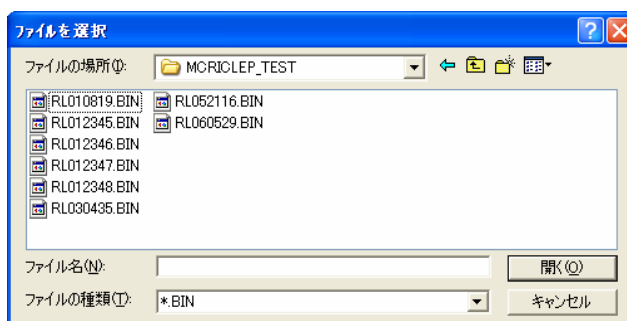
格納先の指定が終わりましたら、**実行** ボタンにより、ライセンス情報と Target-ID の取得を行って下さい。



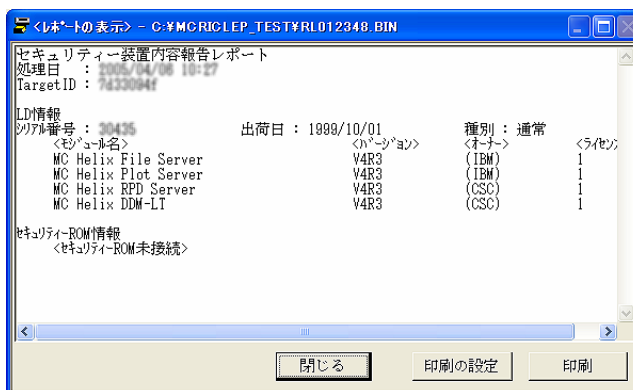
引き続き、別の LD の情報を取得する場合は、LD を差し替えてから、「次のレポートを作成」を行って下さい。すべての LD の情報収集が終わりましたら、**終了** を押してこのウィンドウをクローズします。

STEP-6 取得情報ファイルの表示・印刷

[機能(F)]→[表示・印刷(D)]を選択すると下図の画面が表示されます。



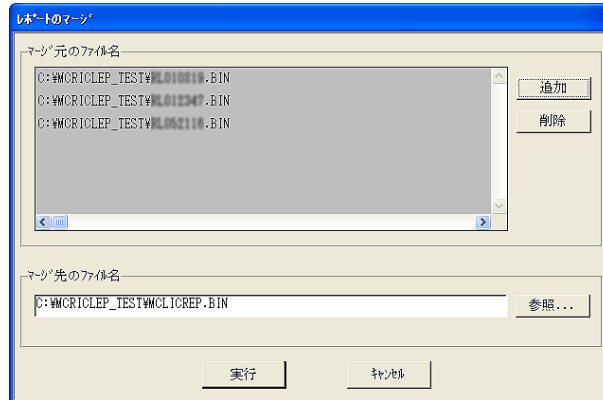
内容を確認したい取得情報ファイルを選択し、**開く(C)** を指定すると、以下のような取得されたライセンスと Target-ID の情報が表示されます。



印刷の設定 により、印刷先のプリンターの指定、印刷の向き、用紙サイズ等を設定し、**印刷** ボタンにより出力します。処理が終了しましたら、**閉じる** によりウィンドウをクローズします。

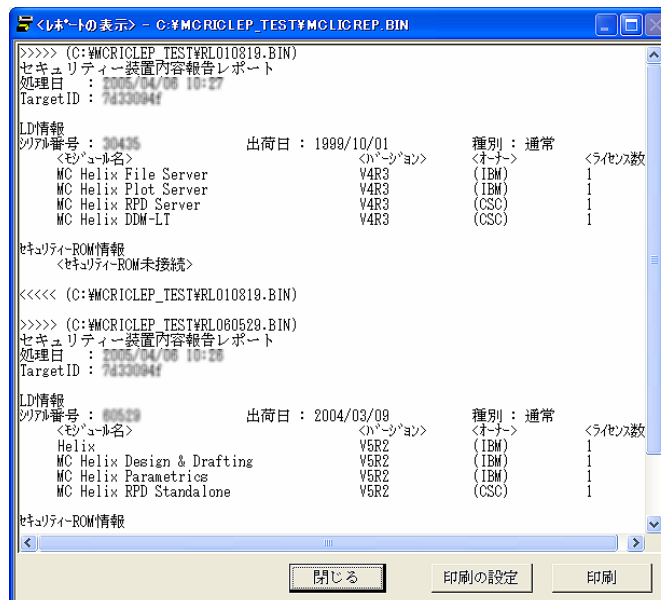
STEP-7 取得情報ファイルのマージ

今回の改善版から、複数の取得情報ファイルを1つのファイルに統合する「マージ」機能が追加されました。
[機能(F)]→[マージ(M)]を選択すると下図の画面が表示されます。



ウィンドウ下部で結合先のファイル名を指定し、**追加** ボタンで対象となる取得情報ファイルを1つずつ指定することにより、複数の取得情報ファイルを1つのファイルに結合する事が可能です。

結果は、STEP-6 で説明した[表示・印刷機能]により内容の確認・印刷ができます。



(マージ結果の例)

処理が終了しましたら、**閉じる** によりウィンドウをクローズします。

※LD/PFK の接続状態が悪いと情報が取得できない場合がありますので、御注意下さい。

補足:AIX版での留意点

AIX版も運用手順は、Windows版と同様です。

ただし、インストール前の準備、及びセッティング・起動の際にOSの違いによる相違点があります。

1) インストール前の準備

AIX版は、tar形式にアーカイブしたファイル(aixmclcrep.tar)を以下のURLからダウンロードしてください。

http://www-06.ibm.com/jp/domino01/mkt/cnpages4.nsf/page/default-mchs_contract#foot3

そのファイルをダウンロードしてから、展開した後で利用します。(展開後に利用するメディアによって使用方法は異なりますが、以下にはAIXマシンのHDDに展開するケースについて手順を説明します。)

① aixterm または dtterm のウィンドウを画面に表示します。

② アーカイブの導入先となる任意のディレクトリーを作成します。

/usr/の直下に、/mchelix/admin という導入先となるディレクトリーを作成します。

(以下、この例では/usr/mchelix/admin に導入する前提で説明を進めます)

```
# mkdir -m 755 /usr/mchelix/admin
```

③ 事前にダウンロードしたファイルを導入先ディレクトリーに移動します。

```
# mv aixmclcrep.tar /usr/mchelix/admin
```

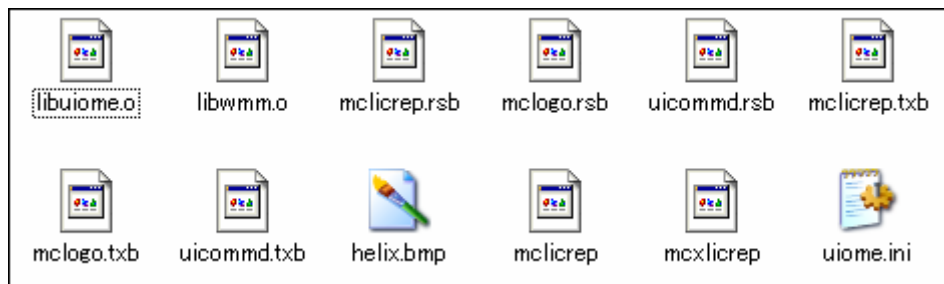
④ カレント・ディレクトリーを導入先ディレクトリーに切り替えます。

```
# cd /usr/mchelix/admin [改行]キー
```

⑤ tar形式からの展開

```
# tar -xvf aixmclcrep.tar [改行]キー
```

とキーインしてtar形式からファイルを展開してください。展開すると、以下のような12個のファイルがカレントディレクトリーの直下のサブディレクトリー「mclcrep」に作成されます。



展開した後は aixmclcrep.tar は不要ですので、削除して下さい。

2) ライセンス情報取得ツール(AIX版)の起動

aixterm または dtterm のウィンドウから次のコマンドを入力して、ライセンス取得ツールを起動します。

```
# ./mclcrep [改行]キー
```

3) 起動後の操作手順

ライセンス情報取得ツール起動後の操作手順は Windows の場合に準じますので、Windows 版のケースの説明を御参照ください。

以上ですが、細かい点についてはインストールする AIX 機の環境によって、異なりますので、個々の環境の違いによる AIX のコマンドの実行は、AIX のルールに準じて対応して下さい。

以上

※ このツールに関するお問い合わせは、下記窓口までメールにてお願いいたします。

日本アイビーエム・アプリケーション・ソリューション株式会社

カスタマーセンター

E-mail : iasccad@jp.ibm.com